

令和 4（西暦 2022）年 8 月

小児治験の円滑な実施に向けたパートナーシップ契約を締結

小児治験ネットワーク（一般社団法人日本小児総合医療施設協議会が設置、理事長：五十嵐隆）、小児治験ネットワークの運営・管理を委託された国立成育医療研究センター病院（所在地：東京都世田谷区、病院長：笠原群生）、サノフィ株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：岩屋孝彦）は、小児・周産期領域における治験（開発）の情報を共有し、治験の実施を促進するためのパートナーシップ契約を令和 4（西暦 2022）年 8 月 1 日に締結しました。

このパートナーシップ契約では、治験の知識・情報を共有することで

①小児治験ネットワークとサノフィ株式会社で、定期的に小児治験実施状況の情報共有や治験経験を共有することで、治験関連業務が円滑に進むようにすること②実施可能性調査を速やかに実施し、治験への参加が可能な複数施設を紹介できること③治験実施施設手順の効率化（簡素化）を推進すること④治験を適正に実施するための研修活動などについても検討していきます。

これらの業務協力が進んでいくことで、子どもたちがより有効で安全な薬を服用できる社会へと繋がっていくことが期待されます。

現在、小児で使用されている医療用医薬品のうち、添付文書に小児の用法・用量が明確に記載されていない、いわゆる「適応外使用」は 60～70%を占めると言われています。子どもたちの服用に適し、より有効で安全な医薬品を早く提供していくためには、小児医薬品を開発しやすい環境を整備していくことが求められており、本契約の締結は大きな意味をもちます。

小児治験ネットワーク

小児治験ネットワークは、小児・周産期領域における医薬品等の開発（治験）を推進し、より有効で安全な医薬品等を患者（児）に早期に提供していくことを目的として平成 22 年に設置されました。令和 4 年 3 月末日時点で全国の小児医療施設等 55 施設が加盟し、小児・周産期領域の治験ネットワークとして国内最大の規模となっています。